

「マンショ」(The Mancio) 目次

マンショを語る会 企画・編集

(鉦脈社刊)

	著者	頁
創刊号 (2007.10.10発行)		
表紙写真:伊東マンショ肖像画(長崎市歴史文化博物館蔵)		
『マンショ』発刊に当たって		2
「資料:伊東満所顕彰に関する宮崎県議会の昭和24年から25年の動き」		
伊東満所顕彰問題に関し宮崎県議会決議録		8
請願書一遣欧使節伊東満所の顕彰事業について		
文化使節伊東満所	小寺鉄之助	11
伊東満所顕彰会発足す		41
『特集:マンショ流浪の孤児説』及び「天正遣欧使節虚構論」批判』		
「満所流浪の記事」説とは何か	外前田孝	46
伊東満所「流浪の孤児」説批判	高崎隆男	59
天正遣欧使節虚構論を切る(その一)	竹下勇	83
「満所」か「マンショ」かー私の伊東満所論	狩野保夫	111
天正遣欧使節誕生地を訪ねて(長崎の旅)	松尾清實	120
マンショとワイン	藤原せい子	124
伊東マンショと伊曾保物語	金井一光	125
マンショと私	鈴木常磐	127
飢肥に協会(教団)の印	村川勝也	130
私とマンショ	井戸川順一	
連載:「宮崎日日新聞1981年連載記事から」		
報告・少年たちのローマ(第一回)	井上敬雄	131
第2号 (2008.3発行)		
表紙写真:円南寺蔵の伝伊東マンショ木像		
マンショと都於郡(西都市)		
都於郡城とマンショ	松尾清實	4
～マンショが生れ育った地を訪ねる(その1)～	竹下勇	
マンショと伊東鳥	蓑毛正俊	21
マンショの出生と母 町上について	高崎隆男	22
～松田毅一博士のマンショ関連記事への疑問～		
「私の伊東満所論」・・・への質問に答えて	狩野保夫	30
遣欧使節四少年誕生の地を訪ねて	原田勝子	38
マンショと飢肥(日南市)		
伊東マンショの墓所について	高崎隆男	46
飢肥藩士・祐兵とマンショ	〃	52
報恩寺址墓地のキリシタン遺物	村川勝也	
～飢肥のキリシタン遺物を探る(その1)～	鈴木常磐	66
マンショ墓前祭の歩み	鈴木常磐	82
マンショクイズ	金井一光	
マンショを彷彿させるイタリア人との出会い	井戸川順一	86
～宮崎日伊協会の活動に参加するなかで～		
「マンショ流浪の孤児説」及び「天正遣欧使節虚構論」批判(その二)		
「天正少年使節についてペドロ・ラモン神父の書簡」		88
	パチェコ・ディエゴ(結城了悟)	
宗麟は早くに使節派遣の考えを持っていた	谷水樺夫	112
～若桑みどりの『クアトロ・ラガッツィ』を読む(その一)～		

大村純忠文書とマンシヨ等連署感謝状を読む 天正遣欧使節虚構論を切る(承前)	竹下勇	130
連載:「宮崎日日新聞1981年連載記事から」 報告:少年たちのローマ(第二回)	井上敬雄	158
第3号 (200810発行) 表紙写真:都於郡城本丸跡に建立された遣欧少年使節・伊東マンシヨ銅像の宗上写真 国内初の土製‘聖母マリア’像発見 ～宮崎県日向市の山城遺跡でキリシタン遺物出土～		2
特集:都於郡伊東崩れ豊後落ちとマンシヨ 女三人 都於郡城址逍遙 ～幼き日のマンシヨの面影を追う～	新名美保子 原田勝子	8
都於郡伊東崩れと少年マンシヨ ～満所の生涯と思想断章・その一～ 伊東豊後落ちはどのように行われたか ～原田珂南著『伊東三位入道の都於郡没落を追う』から～ 山東政権の崩壊と伊東主従の豊後落ち マンシヨの出生及び豊後落ちのことどもについて マンシヨが十三日間滞在した高千穂河内 伊東一族豊後落ち歴史の道を歩こう会の記 伊東一族豊後落ち再現の旅	壺岐幸子 竹下勇 松尾清實 高崎隆男 藤野芳晃 池上一成 日高不二夫	24 38 76 90 96 100 104
飢肥とマンシヨ(その2) 長持寺址墓地のキリシタン遺物 ～飢肥のキリシタン遺物を探る(その二)～ ‘マンシヨ’はどのように隠されてきたか ～その真実を求めて～ [論文]「伊藤満所」は伊東姓を間違ったのか? ～伊東、伊藤をも使っていた～ [随想]マンシヨ像巡り	鈴木常盤 村川勝也 金井一光 高崎隆男 村川勝也 金井一光	122 132 149 154
信仰と文化財の問題を考える 長崎県の歴史的な文化財取扱いの姿勢を問う 廣田孝一先生と「法華嶽薬師寺」	福島峯林 継松敏夫	158 163
連載・若桑みどりの『クアトロ・ラガッツィ』を読む(その2) 鉄砲・銀山・病院一大航海時代を生きたアルメイダと宗麟	谷水禧夫	174
第4号 (2009.4発行) 表紙写真:置県百年記念 郷土の先覚者マンシヨの肖像画(仲矢勝好 作) 特集:都於郡伊東崩れ豊後落ちとマンシヨ(その二) 少年マンシヨ 豊後と出会う 満所の生涯と思想断章・その二 一、豊後野津院に落ちのび到明寺に宿す 二、大友軍第一次日向侵攻と大友家の内紛 三、宗麟出立。大友軍第二次日向侵攻へ 四、高城(耳川)合戦。大友軍大敗す 五、異郷の地にとり残されて 伊東一族豊後落ち再現の旅・豊後路編 ～第二回(一九九九年)の記録～ はじめに いざ、出立 二日目野津入り 三日目臼杵入り 伊東 一族のその後 32年間続く「豊後落ち歴史の道」を振り返って	竹下勇 日高不二夫 池上一成	4 24 42

はじめに ①歩こう会の発足から展開へ ②豊後編での豊後史談 会とのつながり おわりに		
【資料紹介】		
チュンガ王国の甥ー伊東萬千代の事績ー	村川勝也	63
串間(高鍋藩)のキリシタン ー筑前秋月藩からの避難者たち	鈴木常磐	69
大龍寺と常楽院及び豫章館のキリシタン遺物 ー飢肥のキリシタン遺物を探る(その3)ー	村川勝也 鈴木常磐 金井一光	75
連載・若桑もどりの『クアトロ・ラガッツィ』を読む(その3)		
「ラモンの重大証言」とは何か 松田毅一氏の「書簡の要旨」から欠落した事実を考える	谷水禧夫	83
はじめに ①「ペトロ・ラモン書簡の要旨」には大事なことが欠けて いる②遣欧使節の三つの疑問点について③ヴァリニャーノとラモン と宗麟との対話④ヴァリニャーノはラモンの告発を知らなかった⑤ 虚構論の構図		
結城了吾氏を悼む	谷水禧夫	114
伊東マンショ・中浦ジュリアン・小笠原玄也		
小倉から熊本へ 信仰の旅と殉教への道	高田重孝	118
はじめに①黒田孝高(如水)と中津教会②細川家と中津・小倉教会 ③伊東マンショ神父の布教活動④細川忠興の仏教擁護と小倉教 会の閉鎖⑤小笠原玄也の信仰と中浦ジュリアン神父の支え⑥細川 興秋と玄也⑦細川家熊本移封と禁教令⑧玄也一家の殉教⑨おわ りに		
永遠に繋がる聖なる時のなかで	高田重孝	176
第5号 (2009.10発行)		
表紙写真:大分市の県庁前・遊歩公園に立つ伊東マンショ像		
「伊東マンショ没後四百年祭」を成功させよう	日野光幸	4
伊東マンショ没後四百年顕彰記念事業推進協議会 結成準備委員会からの呼びかけ		
都於郡から法華嶽薬師寺へ ー女三人マンショ父子天井板絵奉納の道を辿るー	原田勝子 新名美穂子 壺岐幸子	12
マンショ、キリスト教と出会う		
満所の生涯と思想断章・その三	竹下勇	34
一、臼杵城下と豊後府内探訪への旅たち		34
二、虎千代麿、ラモン神父との出会い		43
三、マンショ、アルメイダの手術を見る		57
堀川国広と伊東マンショ		
ー幻の『錦袋録』は川口陟氏が所持していたー	谷水禧夫	70
一、国広と錦袋録に関する文献を追う		
二、‘‘錦袋録の一記事’’より		75
三、田中国広から堀川国広へ		77
「捨てるに捨てられぬは命」		
ー三位入道義祐の流浪の旅に思うー	松尾清實	87
「飢肥領内各地に残るキリシタン遺物 ー飢肥のキリシタン遺物を探る(その四)ー	村川勝也 鈴木常磐 金井一光 仁禮三朗	98
マンショの青年時代		106
伊東マンショを語る		116
板絵のこと 墓石建立発願のこと	福島峯林	
豊後キリシタン遺跡探訪の旅に参加して		
小笠原玄也一家の遺書その現代語訳と解説	高田重孝	126
小笠原玄也一家の形見送りと書状、その現代語訳の意義について		

小笠原玄也の遺書・現代語訳	高田重孝	
小笠原玄也書置き・形見送り目録(注分)	児玉雅治	162
現代語訳を終えて、いくつかのこと	高田重孝	168
第6号 (2010.4発行)		
表紙写真:JR日南駅前 伊東マンショの像 碑文		
四百二十五年ぶりに蘇った天正遣欧使節の衣装		
マンショたちの息吹を形に		
一マンショの衣装復元とリサイタル公演の旅一	原田勝子	壺岐幸子 新名美穂子
少年使節は当時、どのように描かれていたか		
一復元衣装の作成のための基礎資料の考察一		高田重孝 29
平成遣欧中年使節団旅行記		阿部裕也 50
マンショと飢肥藩一私の飢肥キリシタン遺物探訪一		金井一光 76
飢肥とマンショ一野田宇太郎歌碑建立のこと一		小田原稔 87
戦国動乱を駆けた民部大輔祐兵		松尾清實 90
一伊東家再興の夢実現一		
『第三十二回・伊東一族の豊後落ちのみちを歩こう会』に参加して		矢野照久 98
ルイス・デ・アルメイダの偉業を想う		
一マンショとアルメイダの出会いについて一		竹下勇 100
マンショゆかりの地を訪ねて		
一平成遣欧少年使節参加報告【西都市編】一		122
ローマに行った報告書	西都市立妻中学校二年	武末佳太 125
平成遣欧少年使節に参加して	西都市立穂北中学校二年	池澤由季 127
平成遣欧少年使節団随同行記	西都市随行人員	今井愛子 130
私の一生の財産	西都市立妻中学校三年	凶師里佳 132
八泊九日間の旅を終えて	西都市立都於郡中学校三年	関谷隆 135
平成遣欧少年使節団海外派遣事業に参加	西都市妻中学校校長	上田克彦 137
平成遣欧少年使節 イタリアへ行	西都市立三納中学校三年	米良俊介 140
平成遣欧少年使節を終えて	西都市立妻中学校二年	中武愛 143
二〇〇五年度平成遣欧少年使節イタリア訪問記	平成遣欧少年使節団団長	日高不二夫 146
平成遣欧少年使節イタリア派遣随同行記	西都市随行人員	濱砂政英 150
第7号 (2011.5発行)		
表紙写真:伊東満所三百五十年祭を記念して西都市に寄贈された「絵皿」		
マンショは生きている		
一高校総合文化祭オープニングにマンショ登場一	原田勝子	4
伊東マンショの旅したヨーロッパとその時代の音	新名美穂子	壺岐幸子
「宮崎市中世音楽研究会」の歩みと宮崎市での第一回演奏会		高木正 8
伊東マンショ写真展報告		金井一光 13
伊東満所没後三五〇年祭から半世紀		狩野保夫 20
一四〇〇年祭を考える一		
伊東マンショ没後四〇〇年記念事業をめぐって		40
「満所の神札を探して」		
一天正遣欧使節の白根大明神奉納札一		谷口実智代 46
歴史と文化の祭典・都於郡城址まつり		
一西都市まちづくり奨励賞を受賞一		藤代武司 56
マンショ、キリスト教と出会う		
満所の生涯と思想断章・その四		竹下勇 62
追悼 高碓隆男前会長		91
伊東マンショ 栄光の遺影(講義概要)		92
伊東マンショ 栄光の遺影(概要)		99
堀川があかすマンショ・国広と飢肥藩		107
一活かそう郷土の資源 '創造力'一		
真実の伊東マンショ研究の経緯		111
波乱万丈・日本人初の遣欧使節		127
マンショの生涯と飢肥藩		